

平成 22 年 9 月 13 日

# SERI NEWS RELEASE

財団法人静岡経済研究所  
理事長 古知弘行  
〒420-0853 静岡市葵区追手町 1-13  
アゴラ静岡 5 階  
TEL054-250-8750  
FAX054-250-8770

## 速報 「静岡県内企業に対する『円高』の影響」調査結果

### 【アンケート調査の概要】

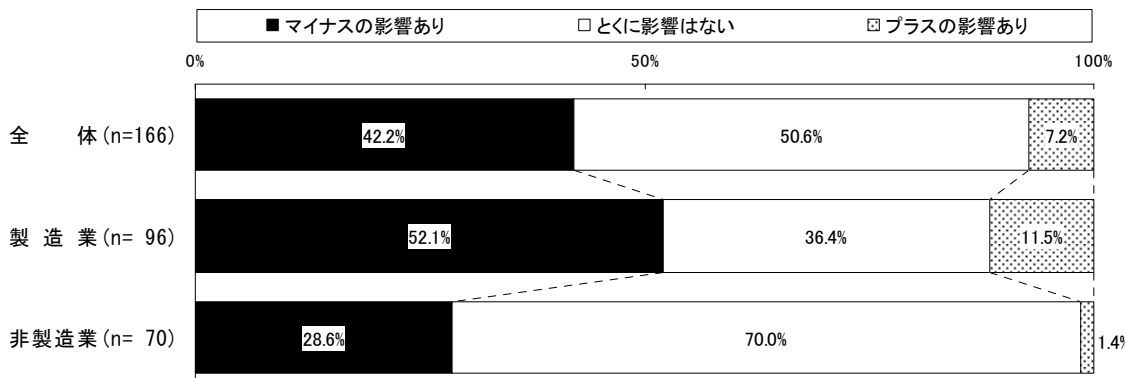
調査名：「静岡県内産業四半期見通し」調査の一部  
調査項目：「最近の円高（1ドル＝85円程度）によって、貴社の経営にどのような影響がありますか」など。  
調査時期：平成22年9月上旬  
調査対象：静岡県内の主要22業種の企業509社に対して調査票を郵送。  
回答社数は166社（9/13現在、回答率32.6%）。

### 【調査結果のポイント】

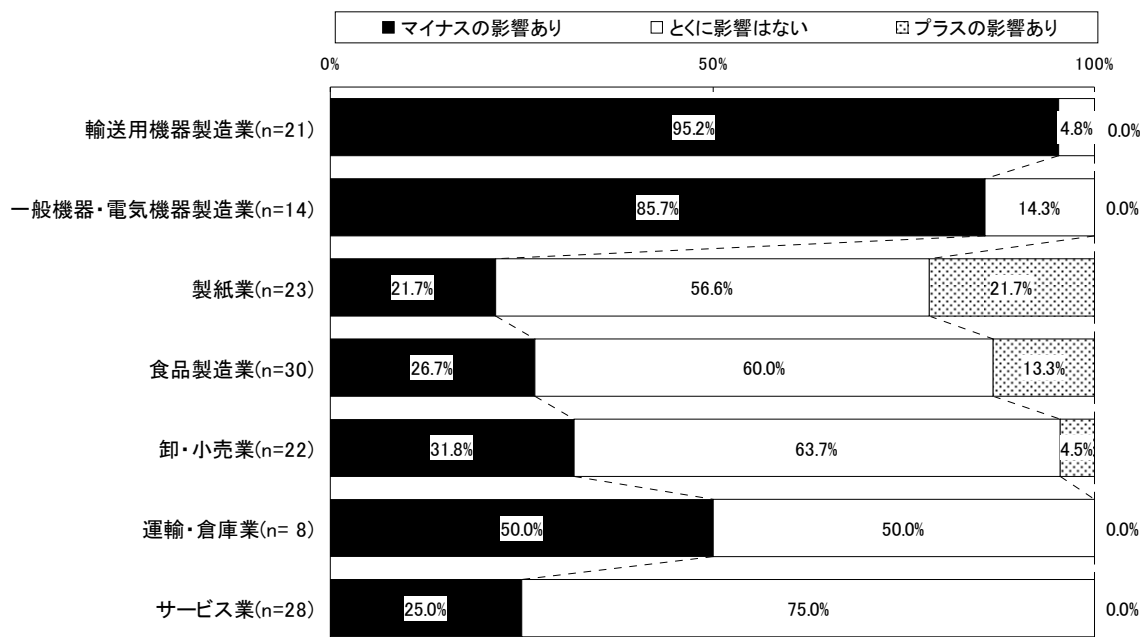
県内企業に対し、最近の「1ドル＝85円程度の円高」（集計期間中の9/1～9/10にかけて1ドル＝85円前半から83円前半で推移）が、企業経営にどのような影響を及ぼすかをアンケート調査した。要点は以下の3点である。

- ①最近の1ドル＝85円程度の円高について、全体の42.2%の企業が“マイナスの影響がある”としている。とくに、製造業では52.1%と過半数の企業が“マイナスの影響あり”と回答している。
  - ②自社の経営上、望ましい為替水準は、回答54社の平均で1ドル＝96.2円
  - ③経営に大きなマイナスの出る水準は、回答46社の平均で1ドル＝87.5円
- \* 総じて、現在の円高水準は、県内企業の経営に大きなマイナス影響を及ぼす水準を超えており、早急に歯止めが必要な状況にあると考えられる。

### ①最近の1ドル＝85円程度の円高が自社の経営に及ぼす影響



## < 主な業種別 >



- 輸送用機器製造業では、95.2%の企業が“マイナスの影響”があると回答している。その理由としては、「完成車の輸出競争力が低下し、部品受注が減少する」、「取引先からのコストダウン要請の強まりが予想される」、「海外メーカーとの直接取引分で為替差損が発生」などが挙げられている。
- 一般機器・電気機器製造業では、85.7%で悪影響があり、「海外売上比率が高く、収益が悪化する」、「アジア市場で価格競争力が低下」、「自動車部品の生産が伸び悩み、工作機械販売にはマイナス」などの声が挙がる。
- 製紙業では、「パルプや重油など原燃料コストの低下に期待」といった“プラスの影響”がある一方、「輸入品との競合激化」（家庭紙）や、「ユーザー業界の生産量ダウンで梱包・包装用紙の需要は弱含み」（板紙）を懸念する。
- 食品製造業では、「輸出競争力の低下」を心配するが、「原材料の輸入価格が低下する」とプラスに捉える企業もある。
- 卸・小売業では、「輸入品の価格が低下し、客単価が下がる」などの“マイナスの影響あり”が31.8%で、“とくに影響がない”とした企業からも、「直接的な影響はないが、円高で国内景気がさらに悪化し、消費者マインドの冷込みが続くそう」といった声が聞かれる。
- 運輸・倉庫業では、「ユーザー業界の不振で荷動きに影響が出る」として、半数の企業が“マイナスの影響あり”としている。
- サービス業（ホテル・旅館、外食業など）では、“直接の影響はない”が多いものの、その中から「地元の企業の経営環境悪化による宴会需要の減退が心配」や「所得環境の悪化から消費者の財布の紐はさらに固くなる」といった声が聞かれる。

### ② 望ましい為替水準は、回答54社の平均で1ドル=96.2円

- 自社の経営上、望ましい為替水準については54社から回答があり、単純平均は1ドル=96.2円となった。  
最高値 1ドル=80円（回答社数2社）、最安値 1ドル=120円（同1社）  
最頻値 1ドル=90円（同14社）、中央値 1ドル=95円

### ③ 大きなマイナスの出る水準は、回答46社の平均で1ドル=87.5円

- 自社の経営に大きなマイナス影響の出る水準については、“マイナスの影響あり”とした企業のうち46社から回答があり、単純平均は1ドル=87.5円。  
最高値 1ドル=80円（回答社数9社）、最安値 1ドル=100円（同3社）  
最頻値 1ドル=85円（同17社）、中央値 1ドル=85円 以上